

1. 本授業科目の基本情報

講義名（コード）	TCR205A	TCR_ビジネスコミュニケーションⅡ_A	
科目名（コード）	TCR205	TCR_ビジネスコミュニケーションⅡ_A	
対象学科		配当学年	
対象コース	CH2	単位数	
授業担当者	佐々木敬太	時間数	
成績評価教員		講義期間	
実務者教員		履修区分	
実務者教員特記欄			

2. 本授業科目の概要

到達目標・目的	ビジネス界で使用される英語を世界の異文化理解やケーススタディを取り入れて実践的に学ぶ
全体の内容と概要	社会的性差、宗教、多様化するビジネスにおける広告ストラテジーなどのトピックをもとに、日本の特徴を理解することに加え、他国（留学生にとっての自国）との違いを分析・検討（Group discussion）する。
授業時間外の学修	各Unitのcasual readingとacademic readingのパスセージを事前課題として読んでくることを推奨する。
履修上の注意事項等	

3. 本授業科目の評価方法・基準

評価前提条件	下記基準に従う。出席は2/3以上が必要となる。1/3以上の欠席の場合、自動的に落第となる。		
評価基準	知識（期末試験点） 60%	自己管理能力（出席点） 30%	協調性・主体性・表現力（平常点） 10%
評価方法	期末試験の点数	出席率X 0.3 (小数点以下切り上げ)	授業中の活動評価点 (5点を基準に加点・減点)
成績評価基準	評価	評価基準	評価内容
	S	90～100点	特に優れた成績を表し、到達目標を完全に達成している。
	A	80～89点	優れた成績を表し、到達目標をほぼ達成している。
	B	70～79点	妥当と認められる成績を表し、不十分な点が認められるも到達目標をそれなりに成している。
	C	60～69点	合格と認められる最低限の成績を表し、到達目標を達している。
	D	59点以下	合格点と認められる最低限の成績に達しておらず、到達目標を充足しておらず単位取得が認められない。
	F	評価不能	試験未受験等当該科目の成績評価の前提条件を満たしていない。

4. 本授業科目の授業計画		
回	到達目標	授業内容
1	Career に関するReading articleを通じて自分自身のキャリア形成を考え	Unit 7 Career 使用教材のcasual readingとacademic reading記載のarticleをもとに、キャリア形成の考え（Reading）を深め、自分自身のキャリアを検討する
2	Career に関するReading articleを通じて自分自身のキャリア形成を考え	Unit 7 Career 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
3	Japanese Culture に関するReading articleを通じて他国と比較	Unit 8 Japanese Culture 使用教材のcasual readingとacademic reading記載のarticleをもとに、日本文化に対する理解を深め、他国との違いを比較・検討する
4	Japanese Culture に関するReading articleを通じて他国と比較	Unit 8 Japanese Culture 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
5	Law and Peace に関するReading articleを通じ日本の安全保障を考え	Unit 9 Law and Peace 使用教材のcasual readingとacademic reading記載のarticleをもとに、日本の安全保障の理解（Reading）を深め、他国との違いを議論す
6	Law and Peace に関するReading articleを通じ日本の安全保障を考え	Unit 9 Law and Peace 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
7	Ethnicity に関するReading articleを通じて同テーマに関連する問題を	Unit 10 Ethnicity 使用教材のcasual readingとacademic reading記載のarticleをもとに、raceとethnicityの違い、それらに関連して留意すべき事項を分析・検討す
8	Ethnicity に関するReading articleを通じて同テーマに関連する問題を	Unit 10 Ethnicity 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
9	Science & Scientists に関するarticlesを通じて科学の有用性を考え	Unit 11 Science and Scientists 使用教材のcasual readingとacademic reading記載のarticleをもとに、エジプトの考古学的知見と科学の有用性を議論する
10	Science & Scientists に関するarticlesを通じて科学の有用性を考え	Unit 11 Science and Scientists 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
11	Styles of Writing に関するarticlesを通じて書き言葉の特徴を考える。	Unit 12 Styles of Writing 使用教材のcasual readingとacademic reading記載のarticleをもとに、口語表現と書き言葉の違いと留意すべき点を分析・検討する。
12	Styles of Writing に関するarticlesを通じて書き言葉の特徴を考える。	Unit 12 Styles of Writing 前回のHomeworkの確認と知識の定着を図る。
13	これまでの全12回分の授業内容の復習及び期末試験の傾向と対策	同左
14	期末試験	学期試験
15	追試・フィードバック	Feedback

5. 本授業科目の教科書・参考文献・資料等	
教科書	R&W Global Perspectives Book 2
参考文献・資料等	
備考	※授業の進捗状況を鑑み、各回のトピックに合った記事等を追加資料として配布する可能性があります。